

談話室 ひこばえ倶楽部

産経新聞 令和2年(2020年)3月9日(月)

理想の姿求め いざ！社会人

大学生 北村琳太郎 22

社会人としての理想の姿は、仕事とプライベートを両立させるとともに、極端に公私混同をしないということだと思う。

仕事にやりがいを持ち、私生活ではリフレッシュする時間をつくり、充実感を得る。仕事も私生活も、満足できるような生活を過ごしたい。

言うのは簡単だが、まず自分自身を磨いておく必要がある。学生生活も残り少ないが、将来を見据えて、もう少し頑張りたい。

だが無理はいけない。集中し、熱意があるのはよいが、根を詰めすぎると、心身にも影響が出るからだ。

学生生活を振り返っても、メリハリは大切だった。適度に自分を許し、甘やかすことで、何事も長続きできた。

こんな考えと意識で、社会に出ていきたいと思っている。

大人の皆さんに聞きたい。理想の社会人は、どんな姿ですか。

(奈良県大和郡山市)